

# らくわだより



神無月号

## 祝開設1周年



らくわが出来て1年が経ちました。色々な方々の支援・協力により、メンバーさんも13名となり、活気溢れる事業所になってきました。これからもメンバーさん、職員一同一丸となり少しずつ成長していきたいと思ひます。  
職業指導員 大橋孝史



開設して早や1年経過しました。利用者の方も13人と大きな所帯となり、益々自分の行動の1つ1つが重責となってきています。また、就労支援員としてまだまだですが、今後とも宜しくお願ひ致します。  
就労支援員 片桐 円



今まで本体の医療法人や社会福祉法人で事業所の開設を夢見てきました。異動を機に実現する事が出来ました。社内・外を問わず、もっと多くの現場の責任者が、事業に理解頂き仕事を切り出して頂く事が将来の発展に繋がると感じます。  
管理者 守本 孝造



らくわに異動して早や半年が過ぎました。毎日大汗をかいて作業をしていましたが、涼しい季節になりより活発に活動できます。私は利用者さんと仲良くなり良き社会人として世の中に貢献したいです。  
生活支援員 藤本幸信

関係機関の方 達にご指導いただき、ウエルネットの社員と共に無我夢中でここまで来ました。新しい出会い・意外な再会を楽しみにハッピーカラーいっぱいらくわを目指して前進あるのみ！

サービス管理責任者  
谷本公子



### ～企業見学を通して～

先日、京都市山科区にあります丘陵の緑に囲まれた高齢者長期療養型の病院に足を運びました。この広大な敷地の中で、障害者雇用を積極的に取り組んでいる(株)アグティという会社が洗濯業務を行っています。その現場を見学させていただきました。

当日は3人の障害を持つ方が洗濯物たたみを黙々とされていました。近くで仕事をされているパートさんが目配り、作業調整を担当し、社員はバックでサポートをするという体制をとったり、たたみにくい介助エプロンは素材やつまむところにタグをつける等の工夫で作業の効率アップを図ったりと合理的配慮が満載！！

障害者雇用を始めた頃は従業員の理解がまだまだ充分ではなく、離職者(障害者)から学んだこともあったそうです。「障害者が一緒に働いている現場が日常化するまでには時間がかかります。企業のトップが言い続ける事が大事。誰かが誰かを育てるとき、育てる方が学ぶことが大きい。」と代表の方が強調していました。5年経過で社風が変わりつつあるそうです。

夢は大きく描きながらも、地道に今を大切に積み重ねること。あたりまえの事ですが、この事を改めて痛感した見学でした。 5年後のらくわを夢見て♪

